

令和2年度 第1回 海老名市総合教育会議 次第

日時：令和2年11月29日（日）午前10時～

場所：海老名市役所 第1委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

- （1）小中学校における感染症対策
- （2）GIGA スクール構想について
- （3）小中学校給食について

4 閉会

令和 2 年度

**第 1 回
総合教育会議**

令和 2 年11月29日（日）午前10時

海老名市役所6階 第 1 委員会室

協議事項 1

**小中学校における
感染症対策**

協議事項 1

小・中学校における感染症対策

「学校の新しい生活様式」ガイドラインを策定

海老名市立小中学校
「学校の新しい生活様式」ガイドライン
(改訂版 2020.11.1)



海老名市教育委員会

協議事項 1

小・中学校における感染症対策

1 基本的な感染症予防対策について

➤ 児童生徒等への指導

児童生徒が「感染防止の3つの基本」を**十分に理解し、自ら判断し行動できる**ように指導する。

➤ 感染源を絶つこと

◆発熱等の風邪の症状がある場合には児童生徒・教職員等は、登校・出勤しない。

☆ 健康管理カード ☆				
氏名	学年	性別	名刺()	
(登校時、検温し、健康状態を確認する。)				
(発熱、咳、咽頭痛、頭痛、腹痛、嘔吐、下痢、アレルギー症状、その他、健康状態を確認する。)				
(発熱、咳、咽頭痛、頭痛、腹痛、嘔吐、下痢、アレルギー症状、その他、健康状態を確認する。)				
氏名	学年	性別	名刺()	
氏名	学年	性別	名刺()	
氏名	学年	性別	名刺()	
氏名	学年	性別	名刺()	

◆登校時、児童生徒や教職員の検温結果および健康状態を「健康管理カード」で把握する。

➤ 感染経路を絶つこと

- ◆児童・生徒 手洗い・咳エチケット・共用する物の使用前後の手洗い
- ◆清掃・消毒



小・中学校における感染症対策

1 基本的な感染症予防対策について

➤ 抵抗力を高めること

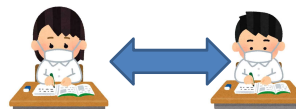
◆ 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、および「バランスの取れた食事」を心がけるよう指導する。

2 集団感染のリスクへの対応について

➤ 換気の徹底（「密閉」の回避）

➤ 身体的距離の確保（「密集」の回避）

➤ マスクの着用（「密接」の場面への対応）



小・中学校における感染症対策

3 活動場面ごとの感染症予防対策について

➤ 各教科等



身体的距離を確保するために
座席配置を工夫する。



対面形式となるグループワーク等は1回の時間を10分程度とする。



手袋を着用した調理実習の様子

換気・手洗いなどの感染症対策を行った上で実施。



小・中学校における感染症対策

3 活動場面ごとの感染症予防対策について

➤ 給食・昼食

机を向かい合わせにせず、大声での会話を控える。



➤ 清掃活動

十分に換気し、床拭き掃除はフローリングワイパー等の柄付きのものを使用



小・中学校における感染症対策

3 活動場面ごとの感染症予防対策について

- 図書室 利用前後の手洗い、利用時間の分散化
- 休み時間 体が接触しない遊びを指導、トイレ休憩の動線・混雑緩和
- 登下校 校門や玄関口での混雑緩和等
- 部活動 各競技団体が作成するガイドラインに従う。



登校時の手指消毒
活動前後の手洗いが定着しました。



協議事項 1

小・中学校における感染症対策

3 活動場面ごとの感染症予防対策について

➤ 学校行事の実施状況

修学旅行 運動会 体育祭

➡ 全小中学校で実施済

【参考】5/27校長会と確認

◆修学旅行、運動会・体育祭の実施に係る基本的な考え方

教育的な意義を踏まえ、感染症対策を徹底したうえで、方法や内容を工夫して実施する。

また、実施しない場合は、内容の精選による縮小や変更等、代替措置について検討する。

協議事項 1

小・中学校における感染症対策

4 消毒作業について

- ◆大勢がよく手を触れる箇所は、1日に1回消毒する。
- ◆発達段階に応じて児童生徒が行っても差し支えない。
- ◆教員の負担軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフ等が行う。
- ◆消毒に使用する家庭用洗剤や消毒液は、新型コロナウイルスに対する有効性と使用方法を確認する。
- ◆児童生徒等が、下校時に自分の机を清掃して帰る習慣を定着させる等。



小・中学校における感染症対策

5 児童生徒に感染者が発生したときの対応

児童生徒の感染者報告

対応① 感染情報の確認と対応

➡ 罹患した児童生徒は出席停止

- ◆臨時休業実施の検討
- ◆関係機関への周知・情報共有

対応② 厚木保健福祉事務所との連携

- ◆厚木保健福祉事務所による聞き取り
- ◆今後の学校における対応の確認

対応③ 臨時休業実施の判断

- ◆当該感染者の症状の有無
- ◆学校内における活動の態様 等

➡ 総合的に考慮し、厚木保健福祉事務所と十分に相談する。

小・中学校における感染症対策

6 感染した児童生徒の心のケアについて

感染者や濃厚接触者である児童生徒等が、差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などの対象にならないよう、十分な配慮や注意が必要です。

- ◆感染した児童生徒等に対する差別、偏見、いじめにつながる行為を許さない姿勢を貫く。
- ◆感染した児童生徒等も含め、誰もが安心して登校できる雰囲気を作る。
- ◆感染した児童生徒等は、自分自身を責める傾向にあることに留意し、「感染症は誰にでもなり得るもので、感染したことには何ら責任はない」ことを全児童生徒等に伝えていく。
- ◆児童生徒の発達段階に応じ、感染症について正しい知識を伝え、うわさや伝聞等による不確かな情報に惑わされないようにする。
- ◆感染症について目を背けるのではなく、児童生徒等に自ら考えさせる機会を作り、過度に感染症を恐れるのではなく、正しい行動に結びつけていく。



協議事項 2

GIGAスクール 構想について

海老名市 GIGAスクール構想

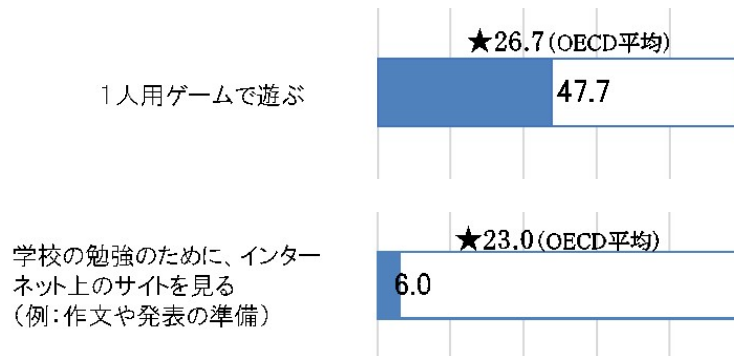
GIGA=Global and Innovation Gateway for All



海老名市GIGAスクール構想

学校外での平日のデジタル機器の利用状況

(青色帯は日本、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



(出典: OECD生徒の学習到達度調査(PISA2018)「ICT活用調査」)

海老名市GIGAスクール構想

児童生徒1人1台端末

高速大容量の通信ネットワーク



タブレット端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学1年 生活科



夏を感じるものを撮影し紹介する

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学2年 算数



朝自習に個別に九九の反復練習をする

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学2年 体育



跳び箱のフォームを撮影してチェックする

協議事項 2

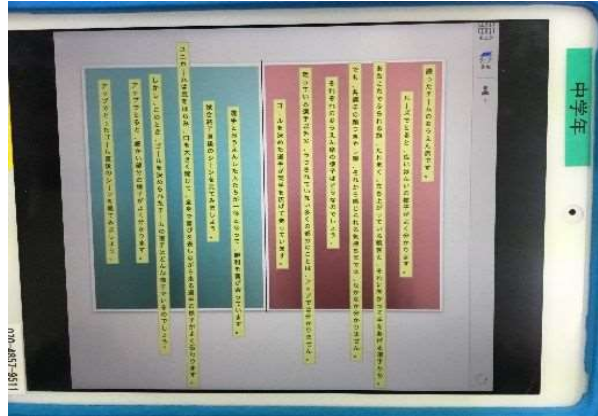
海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学3年 総合



見つけた生き物を調べて発表する



説明文で段落の順番を並び替える



地図帳とともに「水の通り道」を調べる

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学5年 図工



運動会で使用する大漁旗のデザインを決める

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

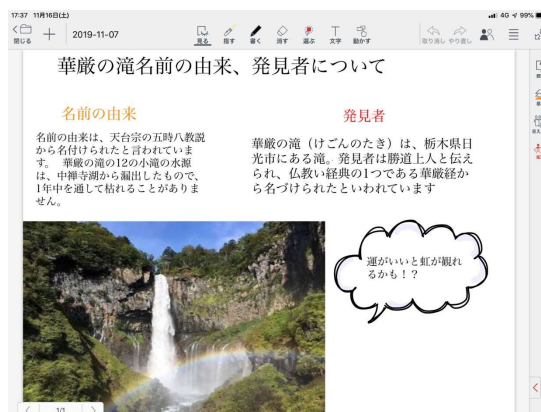
小学5年 特活



下級生に児童会行事を説明する



流水実験の様子を撮影して考察する



修学旅行の体験をまとめる

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

小学6年 理科



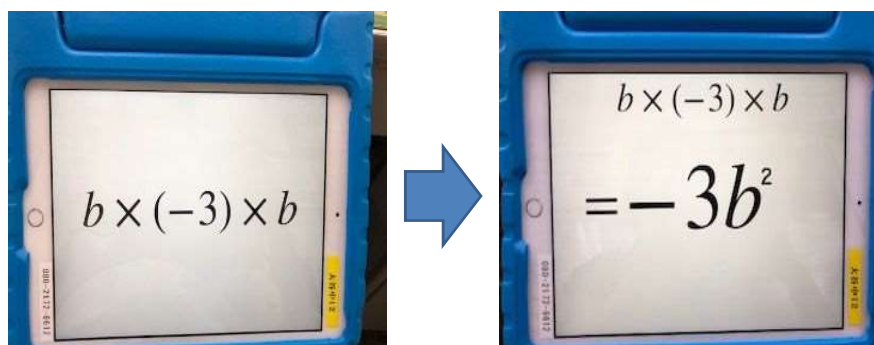
地球から見える月の様子を撮影する

協議事項 2

海老名市GIGAスクール構想

ICTの活用により充実する学習の例

中学1年 数学



授業の導入で3分間のフラッシュカード教材

海老名市GIGAスクール構想

市全体のタブレット端末台数 10,591台

小学生
iPad中学生
Chromebook

小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
								
1,740台		2,801台		2,422台		3,628台		
		有線キーボード748台						

海老名市GIGAスクール構想

整備スケジュール

	タブレット端末	11月	3月	4月
小学校		整備済 1,740台		
		整備予定 →		5,223台
中学校		整備予定 →		3,628台

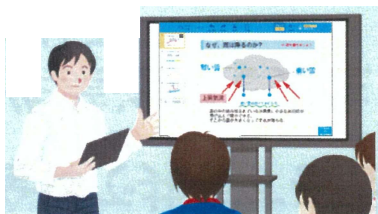
授業が変わる 学び方が変わる



①児童生徒が自分の考えを入力



②プロジェクトに一覧表示



③学級全体で話し合う

個々の児童生徒の考えをリアルタイムで教師と児童生徒間、児童生徒同士、学級全体で共有する活動

児童生徒同士による考えの比較や議論の活性化が行える活動

1人1台端末は
令和の学びの「スタンダード」

協議事項 3

小中学校給食 について

協議事項 3

小中学校給食について

小学校・中学校
魅力ある学校給食を！

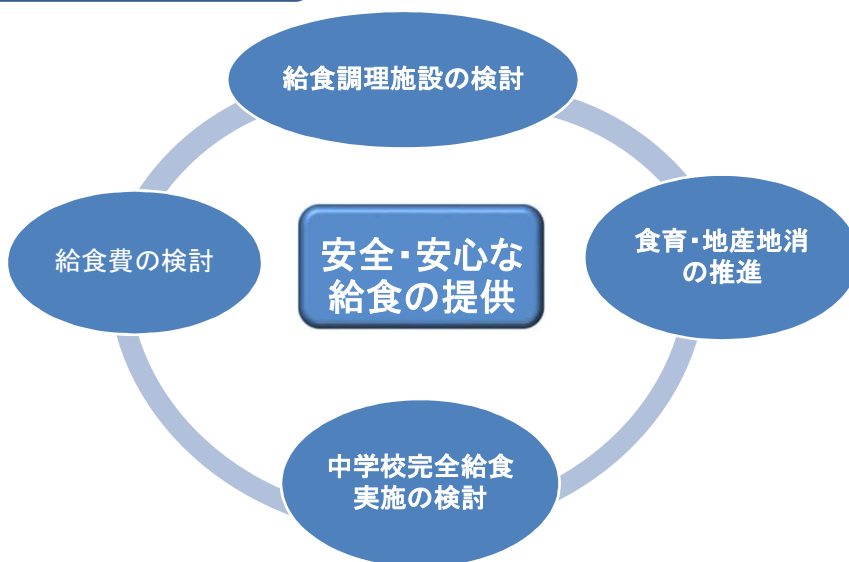
海老名市学校給食検討委員会(7つの提言)

海老名市教育委員会 審議・決定
(R2.3.23)

海老名市学校給食の今後の方針

小中学校給食について

給食検討委員会設置



小中学校給食について

検討課題



小学校給食

「喜びのある給食」「魅力ある給食」に

- ・小学校給食の改善
- ・給食費の見直し

給食費の
適正化を

中学校給食

これからの中学校給食の方向性

- ・中学校給食の実施の検討
- ・中学校給食の運用方法

センター方式
が望ましい

小中学校給食について

小学校給食



小中学校給食について

教育委員会の方針

- 適正な給食費の水準に関する研究・検討
- ☞ 給食費の見直しが必要
- ☞ 保護者等に対する丁寧な説明

小中学校給食について

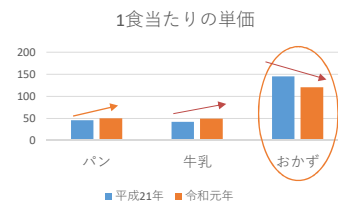
給食費(現状)

- 平成21年度改定以降、10年間変更なし
- 4,000円×11月＝44,000円(年額:年間185食)



適正化の必要性

- ・消費税率の引き上げ
- ・牛乳、米飯、単価の増加
- ・その他の食材の高騰



☞おかずに充てられる食材購入の費用が抑制

小中学校給食について

適正化

- 給食費の適正化がされると
 - ☞魅力ある給食の提供
 - ☞地産地消の推進
 - ☞献立の工夫改善

小中学校給食について

中学校給食



綾瀬市立春日台中学校



松戸市立河原塚中学校

小中学校給食について

教育委員会の方針

●中学校給食実施

☞ センター方式

(6校同時に給食開始)

☞ 最適な方法を検討

(民間活力の導入)

☞ 自校方式の長期的視点での検討

(老人施設・学童等への提供)

小中学校給食について

教育委員会の方向性

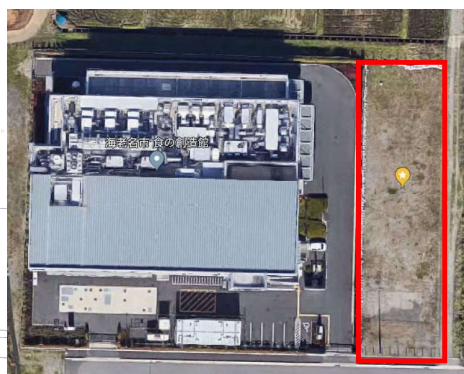
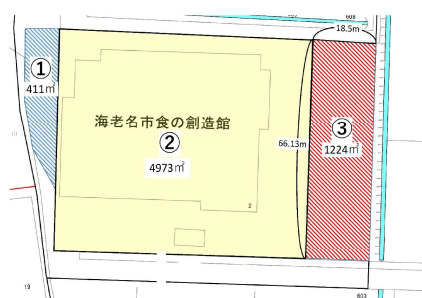
(R2.11.20)

●センター方式による給食提供

- ☞ コロナ禍の状況を踏まえ、早期の開始をめざす
- ☞ 食の創造館との連携活用
- ☞ 調理業務等は民間活力の活用

小中学校給食について

建設候補地



●中学校完全給食に向けた施設

- ・食の創造館(小学校給食)との連携活用
- ・副食のみの調理施設
- ・学校給食の拠点化

小中学校給食について

準備期間

●中学校給食実施に向けた今後の取組

- ☞ 中学校給食施設の設計・建設
- ☞ 段階的な中学校給食の試行・取組
- ☞ 配膳室等の整備
- ☞ 教育課程の再編成

今後、学校運営協議会、保護者、校長会等で周知を行っていく。

小中学校給食について

実施の効果

●センター方式による給食実施

- ☞ 栄養バランスのよい食事の提供
- ☞ 保護者の負担軽減
- ☞ 同じものを食べることの教育効果
- ☞ 役割と責任の自覚(当番活動)

小中学校給食について

**海老名の子どもたちひとりひとりの
「おいしい笑顔」のために！**

